



「フェムテックって？」

◆女性の悩み技術で解決／特有の健康問題に配慮

Q－フェムテックって何。

A－英語で「Female（女性）」と「Technology（技術）」を合わせた造語で、デンマーク出身の女性起業家が、自身の開発した月経周期予測アプリへの投資を募った際に生まれた言葉です。生理痛や更年期障害をはじめとする女性特有の健康問題などを解決に導くテクノロジーや、それを使った製品とサービスを指しています。

Q－具体的にどんなものがあるの。

A－月経、出産、不妊、更年期など女性の健康に関わる課題や悩みは非常に多岐にわたります。大手衣料品メーカーの参入で身近になった吸水ショーツのほかにも、産前産後のむくみに着目した着圧ソックスや更年期症状を軽減するサプリメントから、卵子凍結などの不妊治療、女性特有のがん検査、通院負担を軽減する遠隔診療に至るまで、さまざまな分野で技術開発が進んでいます。



助野(高岡市)の着圧ソックス

Q－なぜ今、注目されているの。

A－一つには女性の社会進出が進み、働く女性の健康問題に配慮する企業が増えてきたことが挙げられます。経済産業省では、2025年時点のフェムテックによる日本国内の経済効果を年間約2兆円と推計しています。この金額は、月経や更年期に伴う症状、不妊治療によって発生する離職や昇進辞退、勤務形態の変更を余儀なくされていた女性がフェムテックを利用し、仕事を両立することで得られる給与相当額から算出したものです。フェムテックはこれまで職場でタブー視され個人で対処してきた女性特有の健康問題を、企業や社会全体で解決していくことで、女性の能力を遺憾なく発揮できる環境を整えるものと期待されています。

Q－県内の動きは。

A－経産省は、21年度に「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」を立ち上げました。女性の就業継続を支援し人材の多様性を高めることで、中長期的な企業価値の向上を目指しています。富山県でもこの補助金を活用したさまざまなイベントや事業を実施し、女性の悩みに寄り添うことで、女性のパフォーマンス向上やウェルビーイングの実現につながる取り組みを進めています。

(北陸経済研究所の吉田聡子が担当しました。)